

みんなにやさしい道づくり

安全な道路環境をめざして

大館市交通安全総点検

平成九年九月に大館市交通安全総点検が大町地区の歩道を中心に行われました。

この調査は、道路利用するかたの視点から安全を考え、よりよい道づくりに反映させていこうということから行ったもので、特に身障者や高齢者の立場にたつて点検したものです。



こんなところを調査しました

- ・道路にデコボコや段差、穴などがないか。
- ・信号や標識、カーブミラーなどの設備、施設が適正か。
- ・歩道を自転車などが占拠していないか。
- ・道路や歩道に街路樹や看板、商品の陳列などがはみ出し、歩行の邪魔になっていないか。
- ・これらのことについて、市立病院から市役所まで、長倉交差点から大町、中町経由で馬喰町まで、

調査の結果

鍛冶町から新町経由で向町までの三ルートを左右に分かれ六班でチェックしました。参加していただいた約六十人のかたは、実際に歩いて、丹念に調査していただきました。

点検の結果、歩道と車道の間の段差が著しく大きいところや側溝の補修、街路樹のせん定などが必要なところ、及び歩道に放置自転車などがみられるなど、合計五十カ所の指摘がありました。

〈主な指摘事項〉

- ・歩道のデコボコがある 8カ所
- ・歩道と車道の間段差がある 17カ所
- ・歩道に関するその他の事項 7カ所
- ・道路と歩道の境を知らせるポール(視線誘導標)が壊れている 1カ所
- ・視覚障害者誘導用ブロックが壊れている 1カ所
- ・街路樹がはみ出し、歩行の邪魔になっている 2カ所
- ・カーブミラーを設置する必要がある 1カ所
- ・電柱、看板などの設置場所が悪く、移転の必要がある 7カ所
- ・側溝のふたが壊れている 4カ所
- ・その他 11カ所

